



緑 風 だ よ り

第82号

令和2年8月



発行 障害者支援施設 神奈川県立さがみ緑風園
〒252-0328 相模原市南区麻溝台2-4-18
Tel.042-766-2255 URL www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/
発行者 弘末竜久



委員会の取組み 地域支援課 課長補佐 西川 聡

これまで、さがみ緑風園には、利用者へのサービス向上のために、職員が主体となって運営する「委員会」と「プロジェクト」がありました。

令和2年度から、それら「委員会」等の役割を園の運営改革のキーワードである「イノベーション」の観点で見直しました。

具体的には、それらを①委員会 ②プロジェクト③その他・業務担当に分け、①を継続して検討が必要な課題について検討する場(施設運営上必置とされているものや、恒常的に設置すべきものを含む)。②を短期的に方針決定する必要がある課題について検討する場。③を各セクションにおいて毎年度ルーチンで実施すべき事項や共通で行う業務を担う場として整理しました。

運営に携わる職員についても、幹部職員、ホーム長・主任、その他の職員等



の役割分担を見直し、職員を一部公募制にするなどの工夫により、組織的・効率的に、かつ各々の職員が責任とやる気をもって、運営に携わることができるようにしました。

今年度はスタートからコロナ禍に見舞われてしまいましたが、新しい当園の委員会等の運営によって、より良いサービスが利用者のもとへ届けられることと思っています。

紙面紹介

1面

・委員会の取組み

2面

・利用者・家族から

・診療所より

・編集後記



ご家族から



利用者から

入所して

4ホーム 志村 有希さん

私の始まり10才の時に右耳の聴こえを失ったことから始まりました。そして13才で多発性硬化症になり、失明で2ヶ月入院したけどその後普通に学校にも通えるようになりました。20代と30代に入退院を繰り返しながらも2回幸せな結婚を経験出来ました。30代後半からは入退院を更に繰り返し、ここ10年はアガペと緑風園のショートステイとパステルの通所を繰り返し利用してやっとここに去年入所できたことが幸せです。皆さんに感謝です。緑風園に入所している間お世話になりましたので、よろしくお願いします。

4ホーム 志村有希さん両親より

4ホームでお世話になっていきます志村有希の家族です。緑風に入所1年半になります。本人が希望していたので入所の時は大変喜んでいました。外見は車椅子ですが他は健康に見えますが12才の時風疹にかかり1日で両目が見えなくなり多発性硬化症の難病と診断され視野が狭くなり、真ん中が少し見える程度となり、この先見えなくなる事もあり身体も徐々に動かなくなり、今迄入退院を繰り返しひどい時は年に6回もありましたが本人が明るい性格で家族は救われています。今は症状も落ち着いていますが先生は安定しているだけと言われ本人も自覚しています。今は週3回のデイサービスに通い忙しい日々を過ごしています。職員の方々が家族の様に接してくだされ精神的に落ち着いて生活でき感謝しています。今コロナの件でタバコを禁止され禁煙中です。入所して体重も5kg増えダイエット中です。わがままも出ていますが園の方が良く面倒見てくださって家族も感謝の気持ちで一杯です。



新任あいさつ

診療所 看護師長 佐藤克美

2020年5月より、診療所に勤務となりました。前任の小林師長のご指導を受け、6月より診療所師長として、看護管理を担っております。遠い昔の話ですが、若い看護師時代は、アメリカで働き、在日米軍医療本部にて看護師として働いていました。この時の経験で得たことは、あらゆる国の方々と働いたことにより、ユニバーサルな考え方が身についたと自身で感じています。

前職は、急性期病院にて看護管理と経営に携わり、また教育機関にも務めておりました。この経験を活かし、皆さんと一緒に利用者の方々に貢献できるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



本来なら東京オリンピックの年が一転して、コロナ禍となってしまいましたが、診療所の医療の立場として、感染管理を万全として乗り切ろうと思っておりますので、マスクと手洗い、密を避けて、笑顔を忘れず明るく元気で行きましょう！

医療や看護、介護についての相談もいつでも可能ですので、遠慮なく声をかけて下さい。



編集後記 4ホーム 木下

今年の夏の暑さも厳しく、またマスクも手放せないのも熱中症予防が例年以上に大切になっています。力を合わせてコロナに暑さに乗り切れるようにしていきましょう！

